

平成19年2月22日

米国LUXFER社製容器のガス漏れについて（続報）

1. 高圧ガス保安協会（以下「協会」という。）は、平成19年1月22日に米国LUXFER社製医療用酸素ガス複合容器のリング部からガス漏れいしていることが発見されたことに関し、同年2月9日に当該容器を輸入した日本ラックスファー株式会社を含む米国LUXFER社製容器を輸入する者に対し、同社製容器のリング部に係る気密性の検証を要請した。
2. 同年2月19日、協会は、日本ラックスファー株式会社より、米国LUXFER社において原因究明が行われ、不具合が発生した容器は特定の従業員が社内標準を遵守しなかったことにより発生したものであり同種の漏れ容器は1本のみである旨及び検査方法の変更等による再発防止策を講じる旨の報告を受けた。
3. 協会は、2月21日に日本ラックスファー株式会社より当該容器と同一ロットの容器であって未出荷のもの727本（当初の726本から訂正）に係る溝深さの測定記録の提出を受け、いずれの容器も気密性に問題がないことを確認した。
4. 協会は、同年2月9日以降同社製容器の輸入者より容器検査申請のあった容器284本について耐圧試験を実施した結果、いずれの容器も同様に問題はなかった。
5. 協会は、上記2. から4. まで及びこれまで輸入された米国LUXFER社製容器に同様の事例が本件以外一度も発生していないこと等を勘案し、同社製容器の輸入者5社に対し2月9日に要請した以下の(1)及び(2)について今後実施を要しない旨を2月22日に通知した。なお、当該容器と同一ロットであって自主回収すると報告のあった58本（当初の59本から訂正）については、自主回収した後リング溝深さを測定し、当該測定記録を提出することについて万全を期するため引き続き要請しています。
 - (1) 既に容器検査に合格した容器に対する耐圧試験又はリング溝深さの測定
 - (2) 容器検査における国内での全数耐圧試験の実施

本件連絡先：高圧ガス保安協会

機器検査事業部 検査企画課 長榮、鳥越

Tel : 03-3436-6104 E-mail : insp@khk.or.jp